

平成二十七年年度 国語「聞くこと」に関する検査台本

〔注〕（ ） 内は音声として入れない。

ただいまから、「聞くこと」に関する検査を始めます。解答用紙とメモ用紙を準備してください。メモ用紙は必要に応じて使ってください。

（問 4 秒）

問題用紙は指示があるまで開いてはいけません。問題は四つです。

（問 4 秒）

ひろこさんの学級では、防災学習の一環として、班ごとにテーマを決め、「私たち中学生にできること」について、発表会を開くことにしました。

これから聞く内容は、発表会に向けてのある班の話し合いの様子です。話し合っているのは、ひろこさん、あきらさん、みかさんの三人です。ひろこさんが進行役を務めます。

話し合いの様子と問題は、一度だけ放送します。

問題用紙の1ページを開いて、プレゼンテーション資料を見てください。

（問 10 秒）

それでは、始めます。

（問 3 秒）

ひろこ	前回の話し合いで、私たちの班は、「もしも学校が避難所になったら」というテーマで発表することになりました。今日は、そのテーマに沿って、「私たち中学生にできること」を具体的に考えたいと思います。一人とも考えてきていると思うので、あきらさん、みかさんの順で、考えてきた活動を紹介してください。
あきら	はい。僕は、体育館に居住スペースを作ることと、倉庫から生活に必要な物を運ぶことという、二つの活動を考えました。
みか	今、あきらさんが言った、居住スペースを作ることや、生活に必要な物を運ぶことは、「中学生にできる」という点でよいと思います。私も活動を二つ考えました。一つは、食事の準備を手伝うこと、もう一つは、子どもや高齢者の話し相手になることです。
ひろこ	確かに、二人が考えてきた四つのことは、すべて学校が避難所になったときには必要なことですね。発表会では、最初に四つの活動がわかる資料も示したいと思います。
あきら	でも、この四つの中には、簡単にできることもあるけれど、なかなかできないこともありますね。
みか	そう言われてみると、「子どもや高齢者の話し相手になる」というのは、他の三つとは違って、難しそうですね。
あきら	以前、幼稚園を訪問したとき、初めのうちは緊張して、園児に話しかけることができませんでした。
みか	私も老人福祉施設にボランティアで行ったとき、初対面のお年寄りと、どんなふうに接すればいいかわからなくて、とてもたいへんでした。

ひろこ	二人が言うように、知らない人の話し相手になることは、簡単にはできないことですね。そういえば、この前の防災教室のときに、「一人で避難してきた人は、避難所に話し相手がいると、不安が取り除かれる」というお話がありました。避難してきた人の話し相手になれば、きっと喜んでもらえると思います。それなら、僕たちの班のメッセージでは、ふだんから人に思いやりをもつということを強調してはどうでしょうか。
みか	いいですね。災害時でも日常生活でも同じように、人に思いやりをもって接することは大事ですからね。
ひろこ	そうですね。学校で困っている友達を助けたり、声をかけたりすることは、災害時に、避難してきた人の心を支えることにつながると思います。

（問 5 秒）

話し合いの様子は、ここまでです。

続いて問題に移ります。

（問 4 秒）

1 あきらさんが、「中学生にできること」として考えてきた活動は、体育館に居住スペースを作ることと、もう一つは何でしたか。解答欄にしたがって書きなさい。

（問 30 秒）

次の問題に移ります。

2 プレゼンテーション資料②の活動の中で、ひろこさんたちの班の話し合いの中心となっている活動はどれですか。問題用紙にある、選択肢ア、イ、ウ、エの中から一つ選んで、記号を書きなさい。

（問 20 秒）

次の問題に移ります。

3 問題用紙にあるプレゼンテーション資料③のAに入る、ひろこさんたちの班が提案するメッセージを考えて書きなさい。

（問 50 秒）

次の問題に移ります。

4 ひろこさんたちの班の話し合いの特徴について、適切に述べているものを、問題用紙にある、選択肢ア、イ、ウ、エの中から一つ選んで、記号を書きなさい。

（問 30 秒）

これで国語の「聞くこと」に関する検査を終わります。次の問題に移ってください。